

**社会福祉法人
特別養護老人ホーム
ユニットリーダー**

2013年3月介護福祉士養成大学卒業生

職場紹介

社会福祉法人A

- 事業所数

板橋、練馬、川越、大宮地区を拠点に26カ所

- 事業内容

障がい児、障がい者、高齢者、ヘルパー、保育

A特別養護老人ホーム

- ユニット型特養
- 開設年月日 2016年10月1日
- 規模
1ユニット10床×14ユニット=計140床
(うち20床はショートステイ)
- 職員数
65名 (2ユニットで9名の人員配置)



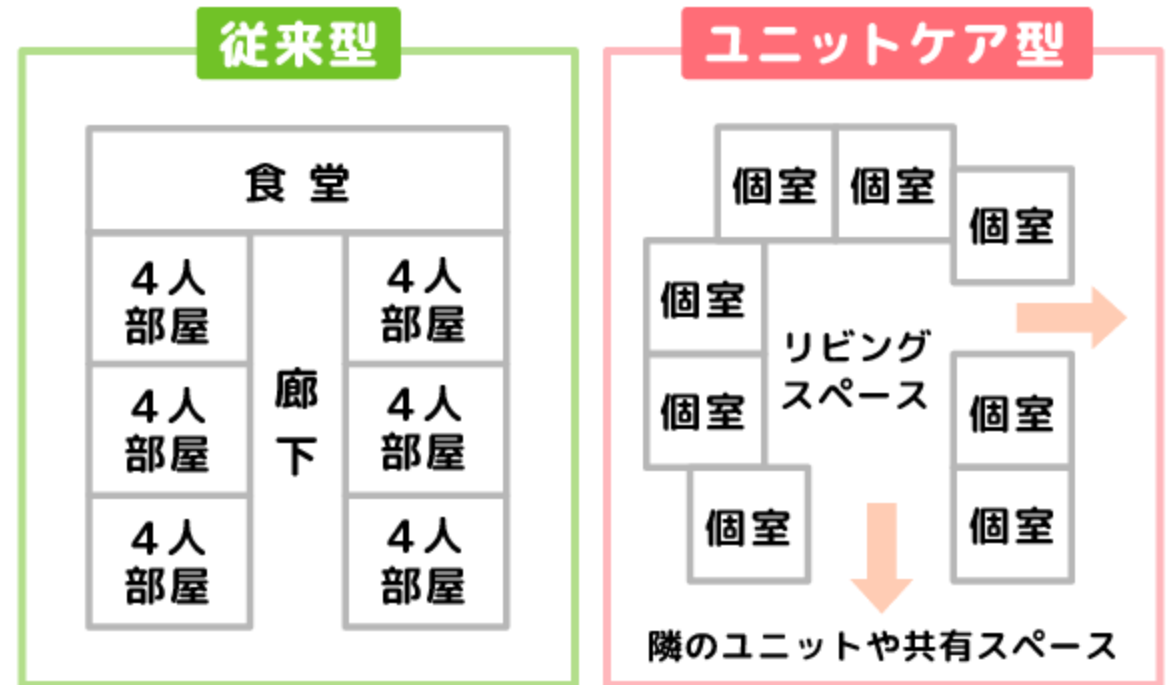
ユニットケアとは

ひとりひとりのライフスタイルに合わせたサービスを提供していくケアの手法。

高齢者に「ごく普通の生活を営んでもらうこと」を目的としている為、起床、食事、入浴、就寝はこれまでの暮らしの継続と捉えて支援。

高齢者それぞれが個室に居住し

10人以下の少人数で1ユニットとして構成される。



仕事内容

身体介護

起床、食事、排泄、入浴、就寝介助

24時間シートを用いて一人一人のニーズに合わせた個別ケアを実践。

24時間シートとは？

入居者様ひとりひとりの生活を24時間系列で記したもの。

自身で出来る事やサポートが必要な事もこれを見れば一目で分かる。
また、職員間でケアの格差が無くなりケアの統一化を図る事ができる。

- ・レクリエーションの立案、実行

毎月行うレクリエーションを企画。それ以外に毎日の余暇を充実させる為の活動も行う。（体操、ぬり絵、パズルなど）

- ・申し送り

職員間でご入居者様の様子を伝達。

介護職だけでなく看護師、ケアマネージャー、栄養士等の多職種とも情報の共有。

- ・記録

排泄、バイタル、食事・水分摂取量等を記録し、P C 上に入力しデータを残す。

- ・ 会議、委員会への参加

月1回行われる会議や委員会に参加。各ユニットから選任された委員や多職種(看護師や栄養士など)が集って議題に沿った話し合いを行う。

また、自身のユニット職員のみで行うユニット会議も開催。

- ・ 新人育成（社内研修の実施）
- ・ 勤務表作成
- ・ ユニット内職員との個人面談
- ・ 掃除や居室環境の整備等



仕事のおもしろさ

自立支援…できる力を伸ばす為の取り組み。

毎月目標を立て、目標を達成する為にどのような支援をするか考える。
支援結果を基に翌月の課題をし、残存機能の維持または向上を図る。

例)

車椅子使用中の方に下肢の機能訓練を行い、歩行器を用いた歩行が出来るようになる。

下剤により排便を促していた方の水分摂取量と日中活動量を増やし、
下剤を使わずに自然に排便が出来るようになる。

信頼関係の構築…少人数制の為、入居者様と職員の信頼関係が築きやすい。家族のように近い存在になることが出来る。

また、職員同士のコミュニケーションも取りやすい。

キャリアアップについて

- 2016年4月 新卒入社。
- 2019年4月 ユニットリーダーに就任。



更なるスキルアップを目指して新たな職種に挑戦したい。



▼今後の目標

ケアマネージャーの資格を取得し、インテークやアセスメントなどケアプラン作成に係る業務がしたい。